

北陽台だより 第329号

青い波北陽台

令和8年 3月31日 発行
長崎県立長崎北陽台高等学校
西彼杵郡長与町高田郷3672
TEL 095-883-6844
FAX 095-883-0776
発行責任者 長池一徳

「歩みを力に変える春」

教頭 副島俊彦

2・3月は、1・2年生の定期試験や探究学習の発表会、3年生の大学入試や卒業式など、1年間、あるいは高校生活の集大成が形となって表れる時期です。今年も多くの生徒がそれぞれの目標に向かって努力し、その成果を見せてくれました。目標に届いた人もいれば、あと一歩及ばなかった人もいます。しかし結果の大小にかかわらず、この一年、あるいは三年間で大きく成長した姿を私たちは確かに見てきました。高い目標に挑戦し続けた人、周囲が驚くほど人間的な魅力を増した人、厳しい環境でも努力をやめなかった人。その歩みは、周囲から応援される存在へと変わっていく過程そのものでした。卒業生の皆さんには、これからの活躍をぜひ知らせてほしいと思います。

成長した生徒たちを見て感じるのは、「初心」の大切さです。初心とは、単に最初に立てた目標や決意だけではありません。

- ・「こうなりたい」と願った気持ち
- ・うまくいなくても諦めなかった理由
- ・誰かに応援されたときの嬉しさ
- ・自分を変えたいと思った瞬間

これらすべてが初心であり、困難に向き合うときの支えとなる“軸”です。そして初心は一度きりではなく、成長の段階ごとに新しく生まれ続ける“原点”でもあります。

年度の変わり目である今こそ、自分の初心を見つめ直す絶好の機会です。目標を立てるときには、目標そのものよりも「なぜその目標なのか」「その先にどんな自分になりたいのか」を意識することが大切です。また他者と向き合うときには、客観的な言葉を素直に受け止める姿勢が必要です。耳の痛い言葉の中にこそ、自分を成長させる本音が含まれているからです。自分の視点と他者の視点を重ね合わせることで、より確かな「自分の意見」が形づくられていきます。

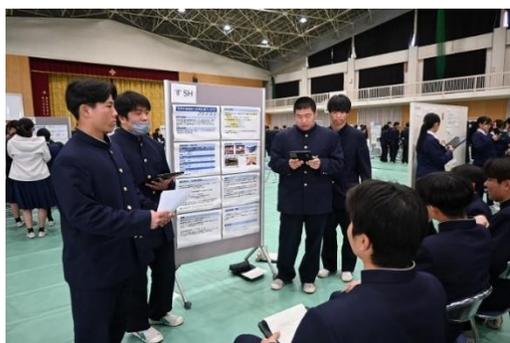
昔の自分と今の自分、自己評価と他者からの評価。その両方を見比べながら、変えるべきことと変えずに守るべきことを見極め、自分の歴史を積み重ねていってください。歩みはゆっくりでも、確実に前へ進んでいるはずです。

2年普通科「総合的な探究の時間」本発表

令和8年2月2日(月)、2年普通科による「総合的な探究の時間」の本発表が行われました。生徒たちは4~5人で構成された全39班に分かれ、8つの分野ごとにそれぞれテーマを設定し、1年間の探究成果をポスター形式で発表しました。

本活動では、地域の持続可能な発展をテーマにフィールドワークを行い、調査結果の整理や発表方法について学びました。発表にあたっては、地域の皆様にも多大なご協力をいただき、当日は多くの方々にご参観いただきました。

今回の発表を通して、生徒たちは課題を見つけ、考え、発信する力を高めることができました。



卒業式

令和8年3月1日(日)、第45回卒業証書授与式が、本校体育館で挙行されました。大地讃頌斉唱の後、式典では、最初に卒業証書授与が行われ、担任により呼名された一人ひとりが返事をして、それぞれが校長から卒業証書を受け取りました。校長式辞に続いて、在校生を代表して山田理子さんが送辞を、卒業生を代表して山中智華子さんが答辞を述べました。式典ののち、各クラスでは最後のホームルームが行われ、274名が三年間を過ごした学び舎から旅立って行きました。



卒業生各種表彰

優良卒業児童生徒表彰（県教育委員会）	吉田 咲菜	3年間成績優秀、陸上部
卒業生顕彰（県高体連）	原口 あかり	登山部主将、 インターハイ優勝
卒業生顕彰（県高文連）	吉川 元	放送部全国大会出場
陽の丘顕彰	藤田 一之助	生徒会長

同窓会理事

1組	成松 奈南
2組	松浦 寧流
3組	松崎 大志
4組	岡 柊真
5組	白崎 千絢
6組	高藏 ひなた
7組	堀川 幸仁

長崎北陽台高校スクールバス乗務員の方への花束贈呈式

2月28日(土)、3年生の交通委員から、45回生の卒業にあたって日ごろの感謝を込めて、スクールバスを運行してくださっている長崎バスの乗務員の方へ花束を贈呈させていただきました。また、長崎バスの乗務員の方より、心温まるお言葉もいただきました。



シンガポール修学旅行報告

2 学年 下條 尚子

A 団令和 8 年 3 月 4 日（水）～ 3 月 8 日（日）、B 団 3 月 5 日（木）～ 3 月 9 日（月）3 泊 5 日でシンガポール共和国へ出向きました。目的は以下の通りです。

- (1) 公共の場で団体行動の経験を積むことにより社会におけるルールやマナー、時間を守ることの大切さを身につける。
- (2) 文化的・社会的研修を通して多文化共生社会と多様な国際関係を理解する。
- (3) 生涯心に残る良き思い出を作り、学年およびクラスの絆を深める。

1 日目は移動、2 日目よりシンガポール植物園、ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ等の市内観光、3 日目はシンガポール市内班別研修、4 日目はカトン地区を散策後にセントーサ島へ移動し班別自主研修、5 日目移動でした。一部生徒に体調不良者が出てしまい、日程の変更を余儀なくされた人がいましたが、添乗員・看護師の方々のご支援もあり、全日程を消化することができました。

初日空港に降り立った途端に、独特の芳醇な香りに包まれ、蒸し返す熱気にまみれ、旅行が始まりました。移動中スクールに遭遇し、全身びしょぬれになる日もありました。しおりの挿絵にも採用していますが、マーライオンや、マリーナ・ベイ・サンズの建物、屋台で食す現地の料理、は、「まさにシンガポール」、日本には無い独特の文化を体感しました。自主研修も、試行錯誤しながら取り組んだ様子が見えました。

道中、ある生徒と話したのですが、自主研修へ向けて事前に相当周到な準備をしていたことがわかりました。オンライン等を駆使して念入りに調査し、時に保護者の方のお力をお借りしながら計画を進めたとのこと。あらためて内容を聞くと、非常に密な日程でした。学年団では、事前に上記の目的や日程や携行品等、必要事項を伝えたのみです。自主研修の際には、各班で集い、話し合う姿を見守っておりました。数日間、他者と寝食を共にするという事は、非日常で、過度なストレスもあります。それも乗り越え、皆無事に帰国しました。一緒にいることで、友人の様々な姿に接し、譲り合い、励まし合う中で、築かれた新たなつながりがあると信じています。現地での生徒の皆さんの生き生きした姿に、46 回生の成長を大いに感じた旅行でした。ご支援いただいた保護者の皆様に感謝申し上げます。以下に生徒の感想を一部抜粋します。

・・・シンガポールは多民族国家であり、それに伴い言語も、建物も多種多様でした。散策すればするだけ新たな発見があり、常にワクワクが止まりませんでした。…ですが、反省すべき点も見つかりました。一つは勉強の足りなさです。とにかく英単語が読めなかったりしました。言語を読むことができなければ聞き取ることもなんて尚更難しく、コミュニケーションを取ることが容易でなく苦勞しました。学校での英語の勉強が不十分であるのもそうですが、学校で習うことの少ない基本的なコミュニケーションの取り方(・・・)を、このグローバル化が進む世界では、重宝するものであり、それらをもっと勉強すべきだと身に染みて感じました。・・・何か物として残るお土産をもう少し買うべきだったのと、シンガポールの公園はスクールのせいで、濡れてることが多く、白いシャツを着た状態で走るべきではなかったということぐらいです。でも、それらも私のシンガポールの思い出の片鱗となり、一生忘れられない物となりました。46 回生の一員としてみんなと旅に出られたのがよかった！！・・・



文理探究科1年 長崎外国語大学研修成果発表会

3月11日(水)に長崎外国語大学にて、文理探究科1年生が研修成果発表会を行いました。フランス語、中国語、ドイツ語、韓国語の4つの言語に分かれ、日本と各国の言語や文化の違いについて約半年をかけて研究した成果を発表しました。

また、今年度から各言語の発音コンテストも実施し、流暢な発音を競い合いました。研修を通して、テーマや仮説設定の仕方、データ分析、スライド作りのポイントなどを学ぶことができました。いずれの班も次年度からの探究活動への意欲が高まったようでした。



フランス語



中国語



ドイツ語



韓国語



講評



発表会表彰



発音コンテスト



発音コンテスト表彰

文理探究科2年 理数探究学校交流会

令和8年2月24日(月)に本校の文理探究科(理数探究)2年生が福岡県立新宮高等学校を訪問し、理数科2年生と交流学習を行いました。

9月の本校での交流から5か月が経ち、それぞれの学校における課題研究の取り組みにも大きな進捗が見られました。また、発表や質疑応答だけでなく昼食時間などを通して、交流を深めることができました。

今回の意見交換を生かし、3月に校内で行われる科内発表に向けてさらに研究発表をブラッシュアップしていきます。



JKA Social Action
競輪とオートレースの補助事業

* 本事業は JKA の補助を受けて実施しております。

文理探究科2年 探究活動発表会

令和8年3月16日(月)に、本校の文理探究科(国際探究・理数探究)2年生が長崎大学や長崎外国語大学の先生方をお招きし、1年間の成果発表を行いました。

すべての班で、年間を通したさまざまな試行錯誤の過程が見られ、いずれも充実した研究発表となりました。

ここで選出された国際探究4班と、理数探究8班は4月に実施する校内課題研究発表会で発表を行います。

この一年の課題研究に取り組んだ経験を、将来の学びに活かしてほしいです。



校内競技大会

3月23日(月)、校内競技大会が行われました。例年通りのサッカー、バスケット、バレーボールの各競技と今年度から百人一首大会も同日に行われ、校内の各会場で激しい戦いが繰り広げられました

大会の結果は以下の通りです。

サッカー男子

1位 1-3

2位 2-2

サッカー女子

1位 1-7

2位 2-3

百人一首

1位 2-4

2位 2-1

バスケット男子

1位 2-3

2位 2-5

バスケット女子

1位 1-7

2位 2-7

バレー男子

1位 2-7

2位 2-6

バレー女子

1位 1-6

2位 1-7





長崎北陽台 47回生

Decide Act Grow!

1 学年 朝野 美夏

2、3月は登校する日が少なく、自由な時間がたくさんありましたが上手に時間を使うことができたでしょうか…。共通テスト（[共通テスト 受験者数・平均点の推移](#) | [独立行政法人 大学入試センター](#)）では、複数の文章・資料や図表などを読み込ませたうえで、授業や教科書で学んだ知識を関連づけて解答を導き出す力や、得られた情報を組み合わせて多角的・多面的に考察する力が求められます。そのため、日々の授業を真剣に受け、基礎をしっかりと身につけるための家庭学習が重要です。

3月5日の進路学習では志望理由の作成に挑戦してもらいました。文章に書き起こそうとする中で、夢を実現させるために何が必要なのか理解した人もいます。47回生の皆さんもあと1年で受験期を迎えます。時間がある今だからこそ、できることがあるはず。学習のビジョンで春休みに取り組むことを提示しています。後悔先に立たず、しっかり考え行動しましょう。

3月の過ごし方 6選

1 体調管理に努めよう



健康だから、いろんなことに挑戦できる！三食しっかり摂って、上質な睡眠を心がけよう。

2 3学期定期試験の復習



定期試験、受けっぱなしになっていませんか？できなかったところを復習すれば、それだけでレベルアップ！

3 1年間で学んだことを復習しよう



スタディサプリなどの学習支援ツールを活用して、抜け漏れのチェックを！

4 進路研究を行おう



大学のHPやパンフレットをチェックして、目標をたてよう。

5 家庭学習ゼロからの脱却！



Classiの学習記録を活用して、時間の管理を徹底しよう。

6 家の手伝いをしよう



卒業したら自立しなければなりませんよ。率先して手伝いましょう。

最後に、保護者の皆さまには、この1年間お子様を温かく支えていただき、心より感謝申し上げます。常に見守り励ましてくださったおかげで、学校でも元気に努力する姿を見ることができました。次年度も変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

種はつぼみを付けたのか

2学年 下條 尚子

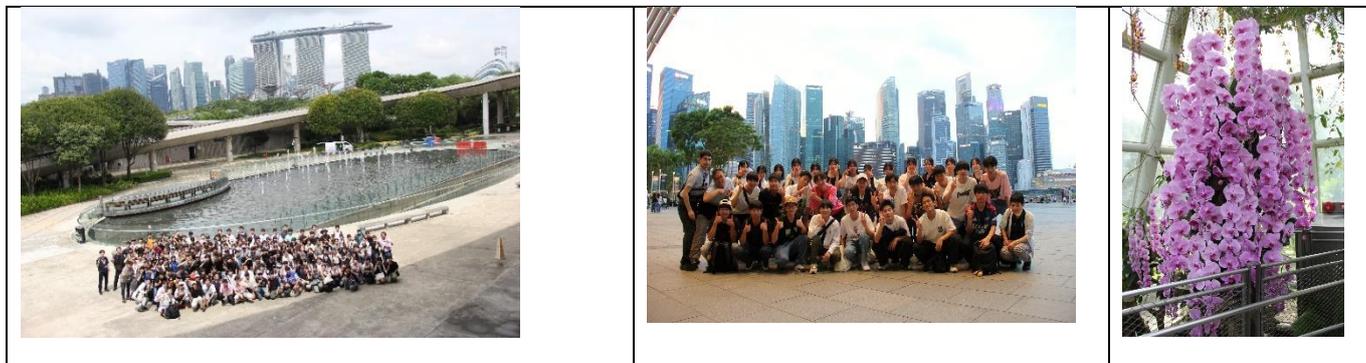
春分の日を経て、桜のつぼみが再び膨らみ始めました。この時期必ず思い出すのは、入学式前オリエンテーションです。緊張を隠せない生徒の皆さんを歓迎していたのは満開の桜でした。本校で3度目の春、桜の季節、いよいよ勝負のラスト1年です。

振り返れば、中堅学年として、学習面、生活面、様々に成長が見られる1年間でした。全体的にはそうなのですが、学習面では、学習時間の量に比例して結果に大きな差が出てきています。早く目標を定めて、十分な学習をすることが進路目標達成への近道です。時代を経て、学習内容に変更が有れど、量ある学習が質の高い学習へとつながります。さて、今年度最後の学年集会にて、次年度の年間スケジュール作成を指示しました。春季休業中に、次年度の受験志望校をリストアップしていただきます。スケジュール用紙は、総合型、学校推薦型、一般型、それぞれの受験希望について、予定を記入するよう構成されています。初めてリリースされた1月実施のマーク模試と記述模試のドッキング判定を記入する欄も設けてあります。進路実現は容易なことではありません。新年度を目前に、冷静に自身の現状を再確認し、受験生として今この瞬間から学習を進めていただきたいです。

部活動や生徒会活動においても、多くの活動成果を目にしました。最高学年として、新1年生を迎える準備は整いつつあります。そのような学習以外の活動に身を傾けられるのも、あと数か月です。悔いのない活動であることを願っています。先日学年集会を開催しました。学年団教員が一言ずつ挨拶をし、次年度へ向けて激励の思いを伝えました。昨年度に引き続き、学年のスローガン、「Bear your own fruit, and give it to others. ~結実せよ、貢献せよ~」にちなみ、自身の成長した姿を種まき後の様子で描いてもらいました。これは前述の年間スケジュールに記入する構成ですので、4月8日提出日に拝見します。いよいよ次年度は成人、社会的にも責任が問われていきます。そんな使命も背負いつつ、大人へ向けて、これからも自分を一層成長させてほしいと願っています。

保護者の皆さま、今年度もお子様への寄り添いありがとうございました。気がつけば2年経過です。おかげさまで、学校で元気に頑張る姿を目にできました。次年度も引き続きご支援をよろしく願いたします。





3年分の感謝

3学年主任 山口 貴明

去る3月1日、45回生274名が長崎北陽台高校を巣立っていきました。答辞を読んでもくれた山中智華子さんをはじめ、皆が毅然とした態度で臨んだ、格式高く感動的な卒業式だったと思います。

45回生は最後までよく頑張ってくれたと思います。「学校行事に強い学年」を自負し、3年間を通して大きく成長していきました。多くの生徒が進路目標を達成していきました。しかし、この文章を書いている時点では、まだ進路が確定していない人も、また、すでに来年もう一度チャレンジすることを決めている人もいます。人それぞれですが、きっとこの先も頑張ってくれるものと期待しています。

さて、卒業式前後には卒業アルバムに一言書いてほしいと多くの生徒が訪れてきました。よくある光景ですね。私はみんなに共通して同じコメントを書かせてもらいました。

「財を残すを下 仕事を残すを中 人を残すを上とする」

これは有名な言葉で、誰が残した言葉かもう忘れてしまいましたが、私が大学時代に在籍した野球部の恩師からいただいた言葉で、今でも大切にしている座右の銘です。

富（財）や名声（仕事）も、もちろん大切かもしれませんが、やはり人生における一番の財産は「人」ではないかと私は思います。これまで出会った人たちのおかげで今の自分がある。感謝の気持ち。誰と出会うかは人生においてとても大切なことであり、自分もまた、他者にとってそういう存在でありたい。「出会い」を大切に、これからの人生を送ってほしいという願いを込めて書かせてもらいました。

そういう意味では、この3年間、学年主任として担任の先生方をはじめ多くの素晴らしい人たちとの出会いに恵まれ、楽しく過ごすことができました。大変なことやきついこともありましたが、一緒に苦労を乗り越え、生徒たちとも頑張ってきた3年間だったと思います。また、45回生の保護者の皆さまは、我々へのクレームもなく（笑）、非常に協力的で、おかげさまで本当にやりやすい学年でした。本当に保護者の方々にも感謝です。今後とも長崎北陽台高校を応援していただけると幸いです。

長くなりました。感謝、感謝で本当に伝えきれない思いです。最後に、この先、まだ進路が決まっていない生徒たちがしっかり自分で道を切り開いてくれること、そして関わってくれたすべての人たちが幸せな人生を歩んでいくことを祈念して、私の学年主任としての任務を終えたいと思います。

3年間、本当にありがとうございました。

4月の主な行事予定

- 1日(水) 新クラス発表(8:30~)
- 2日(木) 第2回合格者オリエンテーション(8:30~12:00)
- 8日(水) 大掃除 新任式 始業式 入学式 PTA 入会式
- 14日(火) 心電図・レントゲン(1年)
- 16日(木) 歯科検診(3年)
- 21日(火) 歯科検診(2年)
- 22日(水) 部編成(放課後)
- 23日(木) 体カテスト・身体測定
- 24日(金) 歓迎レクリエーション
- 27日(月) 探究活動校内発表会(3年)
- 28日(火) 歯科検診(1年)
- 30日(木) 眼科健診(1年)

